**一般社団法人日本家政学会家族関係学部会**

**第38回 家族関係学セミナープログラム**

**日時：2018年10月13日(土)13時　～　10月14日(日)12時55分**

**会場：鎌倉女子大学 大船キャンパス**

**〒247-8512　鎌倉市大船6-1-3 TEL：0467-44-2111(代表)**

**日 程**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **10月13日(土)** |  |  |
| **12時　～** | **受付** | **教室棟2階 ラウンジ前** |
| **13時　～　16時** | **公開シンポジウム** | **教室棟2階 講義室2-A** |
|  | **テーマ:地域社会における多世代共生の可能性** |  |
|  | **－家族と住まいに焦点を当てて－** |  |
| **16時30分～17時30分** | **総会** | **教室棟2階 講義室2-A** |
| **18時　～　20時** | **懇親会** | **食堂棟2階カフェテリア** |
|  |  |  |
| **10月14日(日)** |  |  |
| **8時30分～** | **受付** | **教室棟2階 ラウンジ前** |
| **8時50分～12時55分** | **自由報告** |  |
|  | **Ａ会場　第１分科会** | **教室棟2階 講義室207** |
|  | **Ｂ会場　第２分科会** | **教室棟2階 講義室208** |

****

**【第38回家族関係学セミナー事務局】**

鎌倉女子大学 家政学部家政保健学科　大石美佳

〒247-8512 鎌倉市大船6-1-3

Phone : 0467-44-2111(代表)　Fax : 0467-44-7131

E-mail : m.oishi@kamakura-u.ac.jp

**第１日　10月13日（土）**

**12時　～　　 　受付　教室棟2階 ラウンジ前**

**13時　～　16時　公開シンポジウム　教室棟2階 講義室2-A**

**テーマ：地域社会における多世代共生の可能性 －家族と住まいに焦点を当てて－**

**コーディネーター・司会：井田 瑞江 (関東学院大学社会学部准教授)**

**藤崎 宏子 (元お茶の水女子大学)**

**【趣旨】**

|  |
| --- |
| かつて家族と地域社会は、人びとに日常的な生活基盤を提供するもっとも基本的な単位とされてきた。しかし、人口高齢化や情報化の進展、経済のグローバル化とも連動しつつ、家族と地域社会は大きく変容している。若年世代から高齢世代にわたり広がりをみせる単身生活、長時間一人でいることを余儀なくされる子どもたち、地域社会における人間関係の希薄化や犯罪のリスクなど、日常的ニーズの充足や、安全と安心を確保することが困難な人びとが増加しつつある。  本シンポジウムでは、現代の都市部において生じている人びとの社会的孤立や家族の多様化の背景を踏まえ、暮らしの基盤である住まいと地域に根差した多世代共生の可能性を探ることをねらいとする。とくに、大都市域及びその近郊で増加している空き家を活用した人びとの交流実践を手がかりとして、地域社会の再生の方向性について議論を深めたい。 |

**【シンポジスト】**

報告1　松本 暢子氏 (大妻女子大学社会情報学部教授)

家族の変容と住まい　―少子高齢化による住宅需要の変化とまちづくり―

報告2　六角 薫氏 (NPO法人セカンドリーグ神奈川事務局次長)

多世代共生のまちづくりの実践事例　―成果と課題―

報告3　小澤 千穂子氏 (大妻女子大学家政学部教授)

家族を超える「支え合い社会」のデザイン

―コミュニティにおける居場所づくりから始まるつながりの再構築―

**16時30分　～　17時30分　　総会　教室棟2階 講義室2-A**

**18時　　　～　20時　　　 懇親会　食堂棟2階 カフェテリア**

**第２日　10月14日（日）**

**8時30分　～　　　　　　　 受付　教室棟2階 ラウンジ前**

**8時50分　～ 12時55分　　自由報告　教室棟2階 講義室207・208**

**報告20分（１鈴：終了1分前、２鈴：終了）質疑応答 5分 計25分**

**Ａ会場：第１分科会　教室棟2階 講義室207**

**座長：杉井　潤子（京都教育大学）**

１．大学生のライフコースとケアに関する意識調査①　―コペンハーゲン調査結果の報告―

青木　加奈子（京都ノートルダム女子大学）

２．大学生のライフコースとケアに関する意識調査　―中国大連での調査結果をもとに―

〇磯部　香（奈良女子大学）・李　東輝（大連外国語大学）

３．大学生のライフコースに関する意識調査 ―地域間比較の概観―

山根　真理（愛知教育大学）

４．バリアフリーキャンパスマップの作成　―実態に配慮した高齢者体験を踏まえて―

赤松 瑞枝 （跡見学園女子大学）

**【休憩】10時30分 ～ 10時40分**

**座長：平野　順子（東京家政大学）**

５．成年後見人による支援の親密性の検討

税所　真也（東京大学）

６．家族や重要他者と死を語ることの重要性　―孤独死は何を引き起こすか―

浦口　美穂（東洋英和女学院大学・院）

７．疑似家族の対話による生活設計演習

―対立と合意形成に着目した家族文化の主体的形成―

小野瀬　裕子（共立女子大学・非）

８．韓国と日本の結婚延期現象にみられる男女差

〇金　珠賢（忠南大学校）・李　秀眞（弘前大学）

９．「恋愛」への意味づけの変化　―追跡調査による結果から

大森　美佐（お茶の水女子大学・研究員）

**Ｂ会場：第２分科会　教室棟2階 講義室208**

**座長：永田　晴子（大妻女子大学）**

１．妻の雇用形態とICT利用、家計に関する意思決定との関連性

中川　まり（東京女子大学）

２．ＩＴ利用と子育てにおけるジェンダー

佐野　潤子（お茶の水女子大学）

３．子どもの生活習慣とICT利用、親子の共同行為

〇坂本　有芳（鳴門教育大学）・黒川　衣代（鳴門教育大学）・木村　直子（鳴門教育大学）

４．育児期の親のITを通じたコミュニケーションと世代間関係

大風　薫（お茶の水女子大学）

**【休憩】10時30分 ～ 10時40分**

**座長：中谷　奈津子（神戸大学）**

５．インタビュー調査にみる高度経済成長期を過ごした女性たちの家事・育児意識

〇斧出　節子（京都華頂大学）・馬場　まみ（京都華頂大学）・新矢　昌昭（華頂短期大学）

６．保活における夫婦間の意思決定

尾曲　美香（お茶の水女子大学・院）

７．社会的養護の前段階にある家庭を支える夜間保育

―夜間保育園園長へのインタビューから―

矢野　裕子（京都西山短期大学）

８．ひとり親家庭の児童への学習支援サービスのあり方について

―参加者（保護者）へのインタビューを中心に―

三沢　徳枝（佛教大学）